

報道関係各位

2008年10月8日
緑内障フレンド・ネットワーク

『世界緑内障の日記念』
「STOP!! ザ 緑内障」緑内障市民公開講座開催

日時:2008年11月9日(日) 14:00~16:30

場所:明治大学駿河台校舎 リバティホール(1013教室)

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,641名)は、2008年11月9日(日)、明治大学駿河台校舎 リバティホールにて、一般の方を対象に「緑内障市民公開講座」を開催いたします。

この「緑内障市民公開講座」は、世界各国の緑内障学会が加盟する World Glaucoma Association(WGA)、ならびに緑内障患者団体が加盟する World Glaucoma Patient Association(WGPA)によって、2008年においては3月6日を『世界緑内障の日』と定めたことを記念し、啓発活動の一環として行うものです。

世界で緑内障により失明している人の数は約670万人、患者は約7,000万人いると言われており、2020年にはその数が8,000万人になると予測されております。また日本では、緑内障は40歳以上の20人に1人が発症しており、中途失明につながる視覚障害の原因の第1位であることが明らかになっています(2006年厚生労働省調査)。緑内障は、初期の自覚症状がほとんどないため、発見が遅れがちです。一度失った視野は元には戻らないため、失明を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。

緑内障フレンド・ネットワークは、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につながるよう、日本緑内障学会の後援のもと、緑内障専門医による講演、並びにロービジョンに関する講演を下記要領にて開催いたします。報道関係のみなさまにおかれましては、ぜひ本講座の趣旨をご理解いただき、告知にご協力いただきたく、何卒宜しく願います。

記

- 日時: 2008年11月9日(日) 14:00~16:30 (開場 13:30)
- 場所: 明治大学駿河台校舎 リバティホール(1013教室)
(千代田区神田駿河台 1-1 明治大学リバティタワー1階)TEL:03-3296-4337
- 対象: 一般
- プログラム: (1) <講演> 『生活を豊かにする、ロービジョンってなあに?』(30分)
(2) <講演> 『緑内障治療一葉か? 治療か?』(70分)
講 師: 白土 城照先生/四谷しらと眼科院長 東京医大兼任教授
(3) <ミニコンサート> 『視野を失って・音楽との出会い』(20分)
演奏者: 緑内障フレンド・ネットワーク会員 村上真理子
- 参加費: ¥1,000(当日受付にてお支払い下さい)
- 定員: 先着480名(要事前申込)
- 申込方法: ハガキ、FAX、いずれかにて住所、氏名、電話番号を記入の上、下記住所までお願いします。
(GFN ウェブサイト <http://www.gfnet.gr.jp> からもお申し込みいただけます)
※先着480名を受付し、「入場はがき」をお送りします。満員になりしだい締切となります。
- 主催: 緑内障フレンド・ネットワーク
- 後援: 日本緑内障学会

お申し込みは

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501 TEL:03-3272-6971(担当:野田)

URL:<http://www.gfnet.gr.jp> e-mail: info@gfnet.gr.jp

■会場地図:

- ・明治大学駿河台校舎 リバティールホール(リバティータワー1013 教室)
- ・JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩 3 分
- ・東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩 5 分
- ・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩 5 分



■緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma:正常眼圧緑内障)という眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプが緑内障全体の約7割を占めているとされています。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためには、早期発見、早期治療が大変重要です。

■緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

株式会社トークス TEL: 03-3261-7715 FAX: 03-3261-7174(担当:野村/鶴澤)